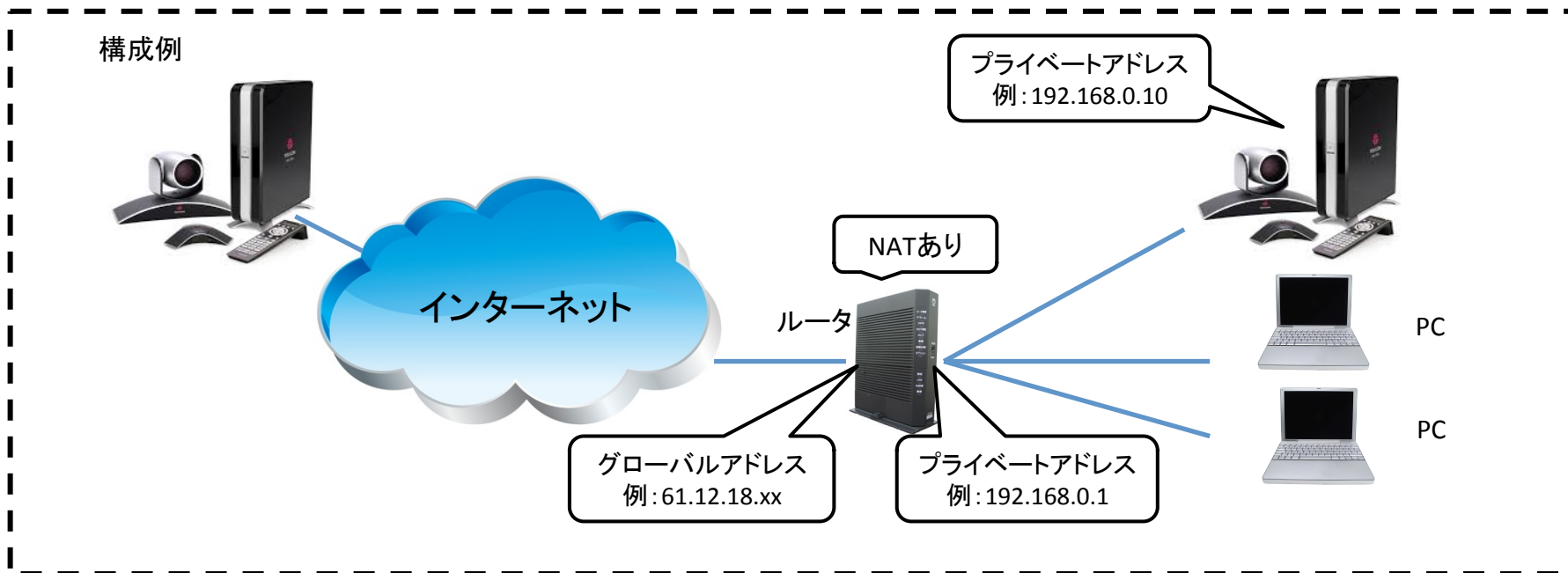


NATの設定について



インターネット経由での通信では利用する条件により以下の設定が必要です。

- ①グローバルアドレスが固定IPアドレスでない場合 → 利用は困難です。プロバイダとの契約を固定IPアドレスに変更ください。
- ②テレビ会議システムに直接グローバルアドレス付与可能な場合 → ルータ、テレビ会議システムともに特別な設定は不要です。
- ③テレビ会議システムにプライベートアドレスを付与している場合 → 以下の設定をルータとテレビ会議システムに行ってください。



ルータに必要な設定

【必要な機能】

グローバルアドレス宛の通信の全部もしくは一部をLAN配下のテレビ会議システムに転送できる設定が必要です。

【ルータの設定】

メーカー・機種により異なります。

- ①全部転送の場合
ルータにより呼び名が異なりますが「静的NAT」「DMZ設定」など。
- ②一部転送の場合
ルータにより「静的IPマスカレード」「ポート変換設定」など。
→開放が必要なポートはテレビ会議システムにより異なるのでご注意ください。

テレビ会議システムに必要な設定

【必要な設定】

NAT設定を有効にし、ルータに設定されているグローバルアドレスを指定します。

【テレビ会議システムの設定方法】

メーカー・機種により異なります。

例) Polycom HDXシリーズの場合

- ①リモコンで【システム】>【管理者設定】>【ネットワーク】>【IP】>【ファイアウォール】の順に選択します。
- ②NATのパブリック(WAN)アドレス側にルータのグローバルアドレスを設定します。(NAT構成は「手動」)